

令和8年度9月卒業式 学長告示

この夏は、各地で豪雨に見舞われ、大きな災害となった地域もありました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復興を祈ります。先日の名古屋での大雨では、大学や附属学校で、帰宅できない学生・生徒も出ました。また、新たな台風が関東地方に接近しており心配ではあります。しかしながら季節は進み少しずつ秋めいてきました。キャンパスの様々な木の実も落ち始め、もうしばらくすると木々の葉も色付き、鮮やかな景色に変わっていくことでしょう。

卒業・修了を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

また、今日まで皆さんを支えてこられたご家族や指導に関わられた皆様、様々な形で支えていただいた事務職員の皆様も喜んでいらっしゃると思います。心からお祝いを申し上げます。

今般は、教員養成課程8名、教育支援専門職養成課程3名に学士の称号が、大学院教育学研究科修士課程日本型教育グローバルコース1名に修士の称号を授与いたしました。

皆さんの新たな旅立ちにあたり、愛知教育大学を代表して、祝福と期待の言葉を述べさせていただきます。

学部を卒業する皆さんは、4年半あるいは5年半、本学に在籍したことになります。それぞれ普通の学生生活では体験できない辛いことや喜ばしいことがあったのだろうと推察します。その過程で、皆さんも努力されたことと思いますが、様々な方に支えていただき今日の日を迎えられたことと思います。明日から社会人となりますが、今度は皆さんがその経験を活かし、支えることができるような力量を磨いてほしいと思います。先は長いので、目標を定めて焦らず、一步一步前進してくれることを期待しています。私たちは応援しています。

修士課程を修了される方は、中国から来日され、1年間の学部研究生を経て、秋入学をされました。異国での修士取得は大変だったことと思います。研究テーマは、「中間言語用論から見る中国人日本語学習者の『配慮表現』の習得」と聞かれています。（研究内容略）大変興味深い内容だと思います。帰国されたら研究成果を広めていただくとともに、後輩の皆さんに本学への進学をぜひ進めてください。ますますのご活躍を期待しています。

さて本学は、2023年に創基150周年を迎えました。1873年に名古屋市に開設された「愛

知県養成学校」が本学の前身です。大学となってからも 77 年目を迎えています。この間、約 7 万人もの教員を輩出し、愛知県を中心として教育の屋台骨を支えてきました。今後も日本の教員養成の中核大学としての役割を果たしていきたいと思います。

最後に、本学での学びを礎に、健康に留意され、大きく羽ばたかれることを祈念いたしまして、卒業・修了にあたっての告辞といたします。

令和 8 年 9 月 3 0 日

愛知教育大学長

野田 敦敬